

令和3年度共助による地域防災力強化総合支援

防災について知ろう！

下熊谷地区自主防災会



NPO法人

まちづくり推進機構 岡山

代表理事 徳田 恭子

2021. 10. 17

「防災」と「減災」

- ・ 自然災害：地震、台風、洪水、土砂災害、噴火、津波 など
- ・ 人的災害：火災、爆発、テロ、ミサイル など

防災 . . . 災害を未然に防ぐための各種行為、施策、取り組み

減災 . . . 災害の被害、特に死傷者をできるだけ少なくするよう事前に十全な対策を立てておこうと各種行為、施策、取り組み

地震と風水害

●地震

- ・ 過去の記録に基づく調査結果からの予測
- ・ 「いつ」は不明・・・平均活動間隔からの発生確率
- ・ 「どこで」は対象地域を特定できる
- ・ 「どのくらいの大きさ」は既往最大規模

●風水害、土砂災害

- ・ ある程度、予測できるため準備が可能

風水害対策

- ラジオやテレビなどの気象情報に注意する。
- 市や防災関係機関の広報をよく聞いておく。
- 停電に備え懐中電灯や携帯ラジオを用意する。
- 非常時持出品を準備しておく。
- 早く帰宅し、家族と連絡を取り、非常時に備える。
- 飲料水や食料を数日分確保しておく。
- 浸水に備えて家財道具は高い場所へ移動する。
- 危険な地域では、いつでも避難できるよう準備する。

雨の降り方と浸水の関係を知る

雨の強さの目安

やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
1時間に10～20mm	1時間に20～30mm	1時間に30～50mm	1時間に50～80mm	1時間に80mm以上
ザーザーと降る雨	どしゃ降りの雨	バケツをひっくり返したように降る雨	滝のように降る (ゴーゴーと降り続く)雨	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる雨
				
この程度の雨でも長く続くときは注意が必要です。	浸水の危険性が高まります。 アンダーパス、半地下の ところの浸水の発生に 注意が必要です。	低い土地での浸水が 始まります。 身の安全を確保し、土 のうの設置など浸水被 害軽減の対策が必要 です。	地下室や地下街に雨 水が流れ込む場合が あります。 マンホールからは水が 噴出します。 蓋がはずれたマンホ ールや、浸水した側溝に 注意が必要です。	雨による大規模な災害 の発生するおそれが 強く、厳重な警戒が必要 です。

警戒レベル

住民がとるべき行動

避難の情報

5

命を守って!

緊急安全確保

↓ ここまでに必ず避難 ↓

4

危険場所から避難

避難指示

3

高齢者など避難

高齢者等避難

2

避難方法 確認

—

1

最新情報に注意

—

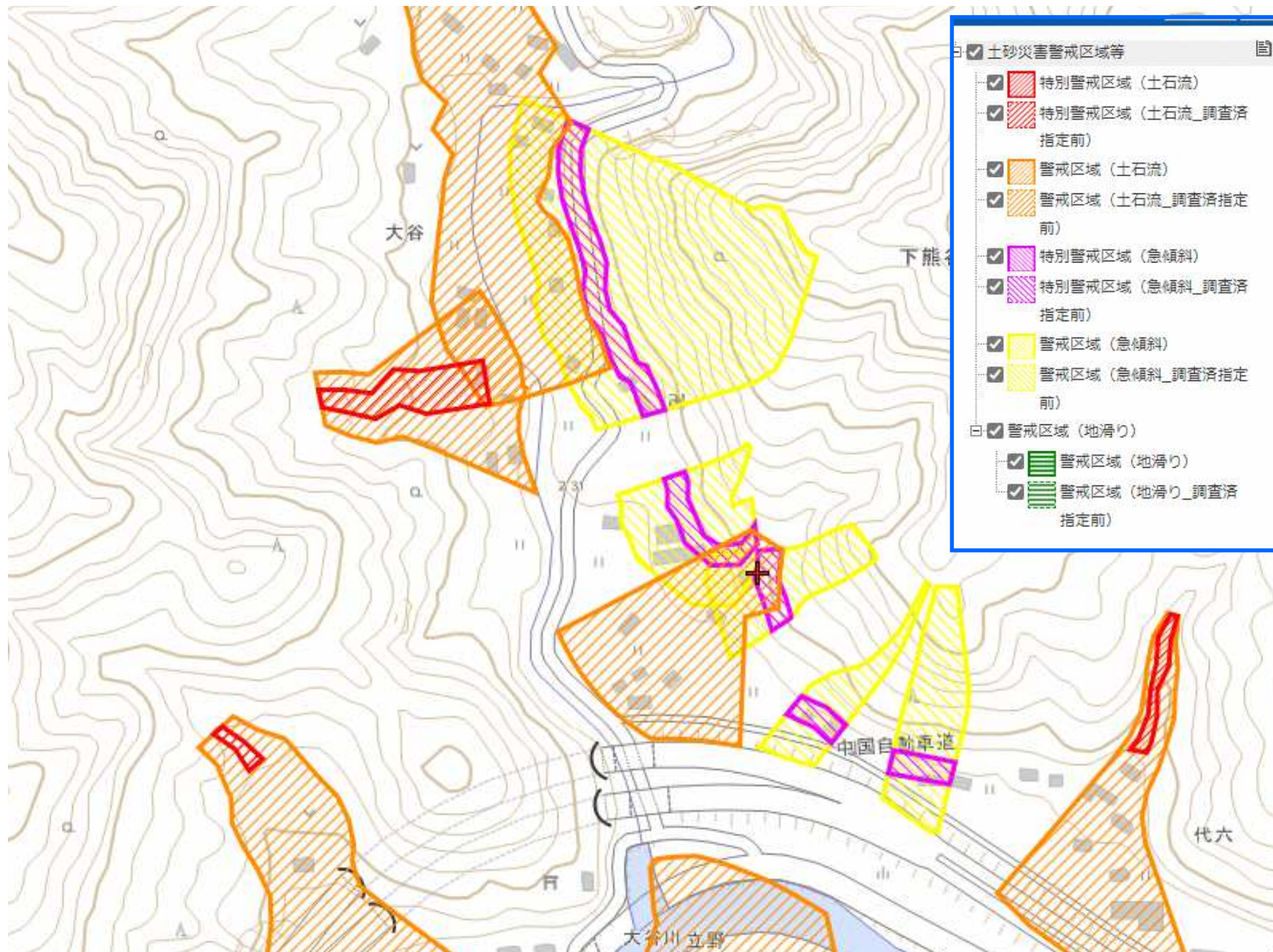
ハザードマップを確認しておこう！

- ハザードマップとは
予測される地震災害、水害、土砂災害など、自然災害について、その被害の及び範囲、被害の程度、避難場所等を表した地図。
(行政機関によって作成される)

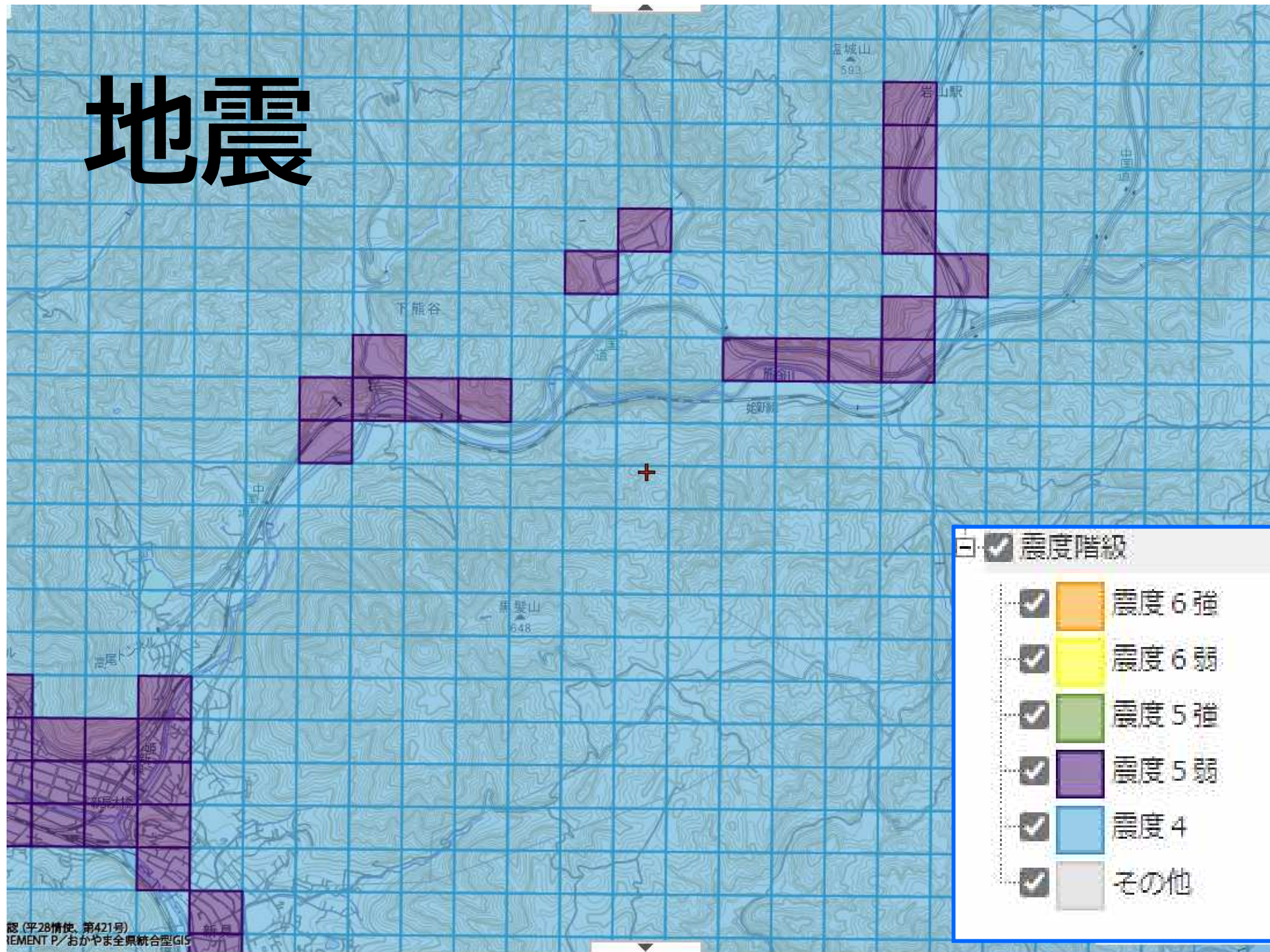
岡山県ハザードマップ



検索



地震



いつ？南海トラフ巨大地震の地震

発生年	地震名称	規模
1605年 7月 9日	慶長地震	M7. 9
1707年10月28日	宝永地震	M8. 6
1854年12月24日	安政南海地震	M8. 4
1946年12月21日	昭和南海地震	M8. 0
2 ??? 年 ? 月 ? 日	南海トラフ巨大地震	M8. 7



102年

147年

92年

?年

地震対策

- 我が家の耐震、地域の危険個所を知っておく。
- ご近所同士顔なじみになっておく。
- 非常時持出品を準備しておく。
停電に備え懐中電灯や携帯ラジオを用意する。
- 家族と連絡の取り方を決めておく。
- 飲料水や食料を数日分確保しておく。
- 家具の転倒防止をしておく。
- 発災後は正しい情報をラジオから得る。

新型コロナウイルス感染防止のため

避難所では3つの**密**を避けましょう！

換気の悪い

密閉空間

1時間に1回は
換気する

多数が集まる

密集場所

避難者同士の
距離を保つ

間近で会話や
発声をする

密接場所

近距離での会話や
発声は最低限で

3つの条件がそろう場所がクラスター発生リスクが高い！！

新型コロナウイルス感染防止のため

事前に備えましょう！

- 指定避難所に避難するだけでなく、災害の危険性のない場所（**親族・友人・知人宅**）へ分散避難することも事前に検討しましょう。
- 自宅の安全な2階以上への避難（**垂直避難**）も検討しましょう。

チェックしてみましょう！

- 自分の家の危険度を知っている？
- 家の中は片付いている？
- 町内会など地域の役員をしたことがある？
- 車のガソリンは半分以上入っている？
- 携帯電話やスマートフォンの乾電池式充電器を持っている？
- 浴槽に水を少しは残している？
- たんす預金をしている？

防災力強化の取り組み

■知る

気象情報や防災情報(避難情報)、
我が家の周りの危険箇所や避難場所の確認
(ハザードマップを活用) など

■準備する

災害の種類ごとにとるべき避難行動を想定し、
家族との連絡方法を定める。
自主防災組織の活動への参加。非常持ち出し品の準備 など

■行動する

準備したことを活かし、命を守る行動をとる。

いつ起こるかわからない災害にそなえて

- 自らの防災意識を高める。
- 地域で仲間をつくる。
＞顔の見える関係づくり。
- 家族との連絡方法を決めておく。
- 懐中電灯など災害時に役立つものの準備。
- 子供たちに自立した防災教育をすすめる。